

令和7年2月5日

各位

地域創造学類

地域創造学類シンポジウムの開催について（通知）

大寒波が襲来しています。皆様には安全にお過ごしのことと存じます。荒天によって引き起こされる予期せぬ不慮の事故を回避するため、地域創造学類シンポジウムをオンラインで開催する決断をいたしました。以下にアクセス方法を示しましたので、オンラインでご参加ください。急な変更となり、大変恐縮ですが、どうぞよろしく願いいたします。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震から1年が経ちました。改めてこの震災で尊い命を落とされた方にお悔やみを申しあげるとともに、大切な財産を失われた皆様に心よりお見舞い申しあげます。依然として被災地は復旧が完了しているとは言えない状況であり、復興の歩みが始まったばかりです。愛着を持って能登に暮らしていた皆様がこの1年をどのように過ごして来られたのか。どのような支え合いの中で暮らして来られたのか。さらに、能登の応援にどんな思いで取り組んで来られたかについて振り返り、これからも住み慣れた地域に住み続ける為に求められること、地域再生とは何か、地域創造とは何かを考えるシンポジウムを開催いたします。大規模災害に地域創造学としてどのように関与していくべきかについて学生の皆さんと一緒に考えたいと思います。多くの方の参加をお願いします。

テーマ：能登半島地震からの1年を振り返り、地域創造を考える。

日時：令和7年2月6日（木）午後2時から4時（予定）

方法：Zoomによるオンライン開催

プログラム

現地からの報告

「被災地で暮らし続けた日々を振り返って」

馬場千遥（珠洲市特定地域づくり事業協同組合）

「令和6年能登半島地震発災から今日まで～MSWが関わった日々を振り返って」

林 真紀（一般社団法人石川県医療ソーシャルワーカー協会理事）

ディスカッション「能登半島地震の地域創造学的復興支援について考える」

進行：佐川哲也・森山 治

お二人の報告を受け、能登半島地震からの復興支援について議論します。とくに地域創造学的な支援について、話題提供者の意見を聞きつつ、参加者の皆さんと議論を深めたいと考えています。